

ニューノーマル（新常態）時代の口臭ケアとは？

マスク着用時「自分の口臭が気になる」が約6割

マスク着用がきっかけで、口腔内環境への関心が高まる

*1：約6割（57.0%）は「気になる」+「やや気になる」の合計

第一三共ヘルスケア株式会社（本社：東京都中央区）は、マスク着用が基本となるこれからのニューノーマル時代に向け、マスク着用による口臭ケアに対する意識や行動の変化を明らかにするために、毎日マスクを着用している30代～50代の男女を対象に調査を行いました。主な調査結果は以下の通りです。

① マスク着用によって自分の口臭が気になる人が約6割（57.0%）も。口臭敏感層が増加（P.1）

- マスクをしていないとき（48.3%）より、しているとき（57.0%）の方が、自分の口臭が気になっている。
- マスクをしているとき口臭が気になるのは、男性（55.3%）より女性（58.7%）に多いが、マスクをすることで口臭自覚率が増えたのは、女性（していないとき54.7%+4.0ポイント増）より男性（していないとき42.0%+13.3ポイント増）。

② マスク着用によって自分の口臭に気付き、口腔内環境に対する意識が醸成（P.2）

- マスクをしているときに自分の口臭が気になる人は、「口内細菌」（45.6%）や「虫歯や歯周病」（33.3%）を心配する傾向に。マスク着用による口臭の気付きが、口腔内環境に対する意識の醸成をもたらしている。
- 全体の64.7%が「マスクをしていて口をゆすぎたいと思う」と回答。今後、口をゆすぐニーズの高まりが予想される。

③ マスク着用によって口臭ケアの重要性を認識。「手軽」「速攻」「持続力」が理想の口臭ケア3条件（P.3）

- マスクをするようになって口臭ケアが大事だと感じた人は44.3%。マスクをしているときに口臭が気になる人では62.6%と、より高いスコアに。マスク着用が口臭ケアの重要性を実感するきっかけに。
- 現在の口臭ケアに対して不満がある人は、全体の48.3%。マスク着用時に口臭が気になる人では60.2%が不満あり。
- 理想の口臭ケアは、「口臭除去や予防が手軽」（64.3%）、「すぐにケア」（67.0%）、「高い持続力」（67.3%）。

調査概要 ■実施時期：2020年6月17日（水）～6月19日（金） ■調査手法：インターネット調査

■調査対象：1日30分以上、毎日マスクを着用している全国の30代～50代男女300人

※構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しています。合計が100%にならない場合があります。

マスク着用時、自分の口臭が気になる

57.0%

マスクをしていると口をゆすぎたい

64.7%

マスク着用時に
自分の口臭が気になる人の

62.6%が

口臭ケアが大事だと感じている



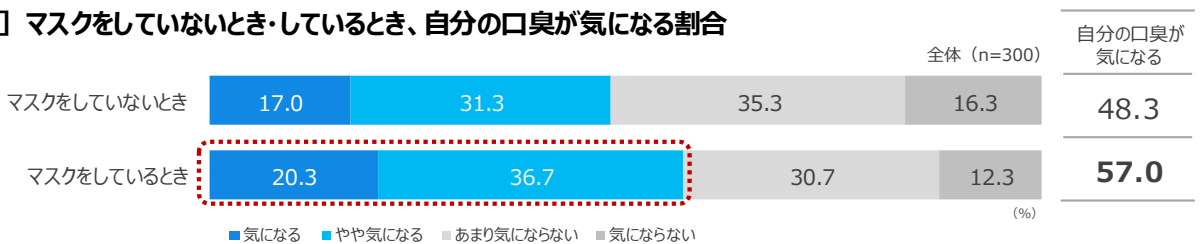
■ マスク着用により「自分の口臭」を気にする人が増加、マスクが自分の口臭に気付くきっかけに
 ■ ニューノーマル時代は、口臭敏感層が増加?!

新しい生活様式への移行が求められている中、身近なニューノーマルの一つがマスクの着用です。毎日マスクを着用している全国の30代～50代男女を対象に、実態調査を本年6月に行いました。

まず、マスクをしていないとき・しているときのそれぞれで、自分の口臭が気になるか否かについて聞きました。

すると、マスクをしていないときに自分の口臭が気になる（気になる+やや気になる）と答えた割合が48.3%であるのに対し、マスクをしているときに自分の口臭が気になる（気になる+やや気になる）と答えた割合は57.0%となり、マスク着用により自分の口臭を気にする人が増えています [図1]。

【図1】 マスクをしていないとき・しているとき、自分の口臭が気になる割合

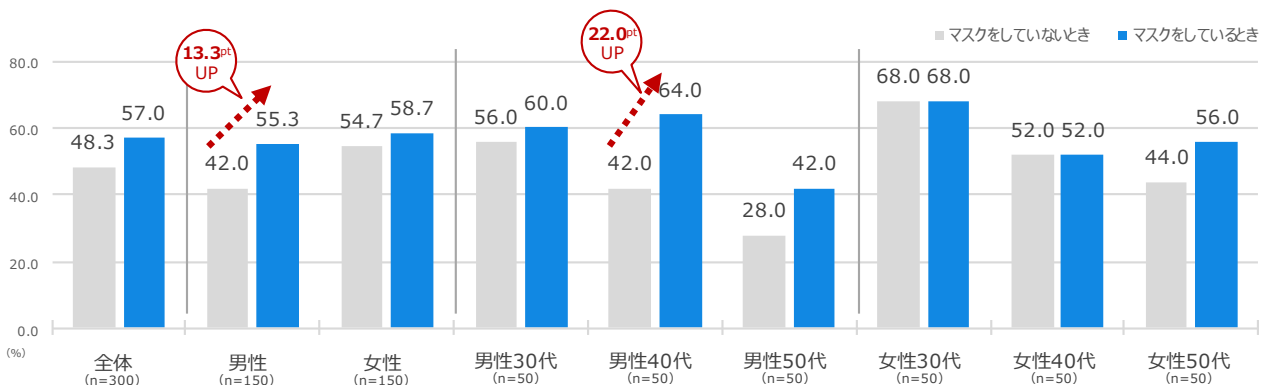


[図1] の自分の口臭が気になる割合を男女別に見たのが [図2] です。マスクをしていないときも、しているときも、女性の方が男性より高くなっていますが、マスクをしていないとき・しているときの差を見ると、女性は4.0ポイント増（54.7%→58.7%）に対し、男性は13.3ポイント増（42.0%→55.3%）と、男性の方がより増えています。特に40代男性は22.0ポイント増（42.0%→64.0%）と、大きな差がみられます。

マスク着用を基本とするニューノーマル時代、自分の口臭を気にする口臭敏感層が増加することが示唆される結果となりました。

【図2】 マスクをしていないとき・しているとき、自分の口臭が気になる割合（性年代別）

スコアは「気になる」+「やや気になる」の合計



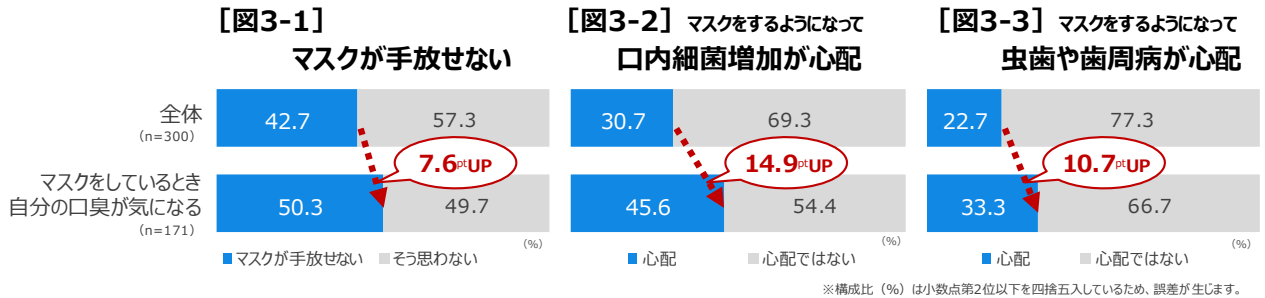
■ マスク着用時に自分の口臭が気になる人は、

口臭だけではなく、虫歯や歯周病にも、より不安を感じている

前述 [図1] で、「マスクをしているとき口臭が気になる」と答えた171人について、全体との意識の違いを見ました。

まず、マスクが手放せないかと聞くと、全体では42.7%が手放せないと答えています。マスクをしているときに口臭が気になる人では50.3%と、7.6ポイント増えています [図3-1]。また、マスクをするようになって口内細菌の増加を心配する人も、全体では30.7%ですが、マスクをしているときに口臭が気になる人では45.6%と、14.9ポイントも増えています [図3-2]。さらに、マスクをするようになって虫歯や歯周病になりやすくなると心配する人も、全体では22.7%ですが、マスクをしているときに口臭が気になる人では33.3%と、10.7ポイントも増えています [図3-3]。

マスクをしているとき口臭が気になる人は、口臭が気になるだけでなく、口内細菌や虫歯・歯周病への不安も大きくなっています。



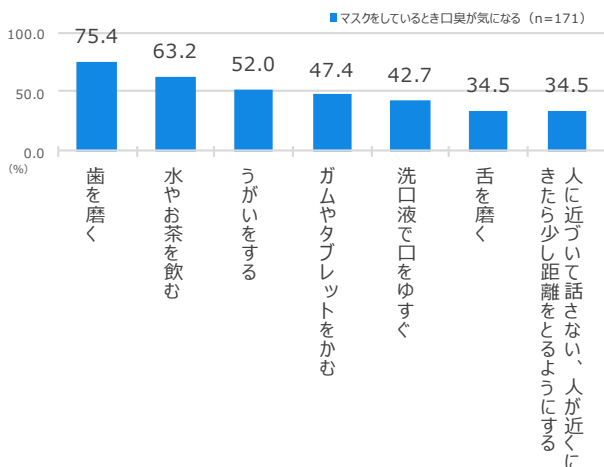
■ マスクをしていると口をゆすぎたくなる64.7% ニューノーマル時代は「口ゆすぎ」のニーズが高まる?!

マスクをしているときに自分の口臭が気になると答えた171人に、口臭が気になるときの対処方法を聞くと、「歯を磨く」(75.4%)、「水やお茶を飲む」(63.2%)、「うがいをする」(52.0%) が上位に挙がりました [図4-1]。

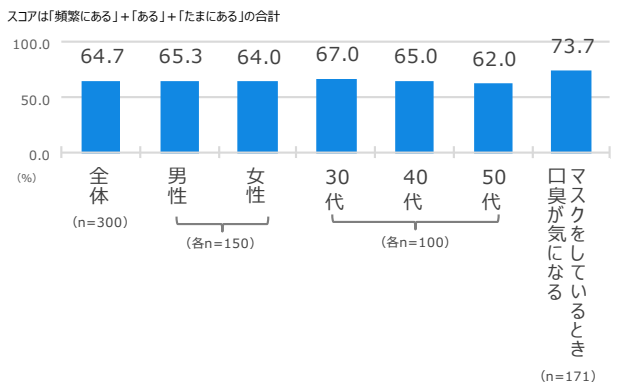
次に、全員を対象にマスクをしていて口をゆすぎたくなることがあるかと聞くと、全体 (64.7%)、男女別、年代別のいずれも6割以上が「ゆすぎたいと思う」と答えています。また、マスクをしているときに自分の口臭が気になると答えた人と同じ質問をすると、73.7%が「ゆすぎたいと思う」と答え、さらに高くなっています [図4-2]。

マスク着用が基本となるニューノーマル時代、口をゆすぎニーズの高まりが予想されます。

【図4-1】 口臭が気になったときの対処方法 (複数回答)



【図4-2】 マスクをしていて口をゆすぎたいと思う



マスクのおかげ?! 男性はひげそり、女性はメイクを手抜きできている

マスクをすることで手を抜いていることについて聞きました。すると、男性では「ひげそり」(20.7%)や「鼻毛の処理」(14.0%)、女性では「メイク」(63.3%)や「UVケア」(19.3%)が上位に挙がりました。男女ともに、マスク着用によって身だしなみに変化がみられます。

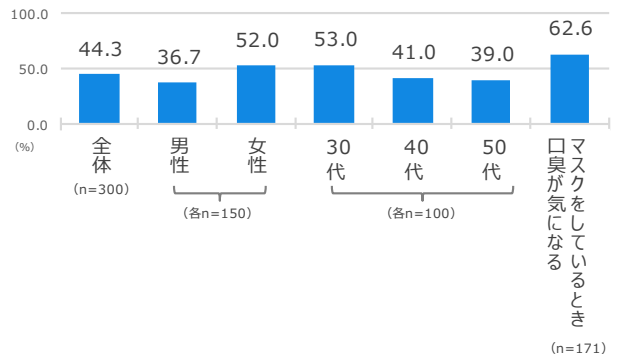
マスクをすることで手を抜いていること			
男性 (n=150)		女性 (n=150)	(%)
ひげそり	20.7	メイク	63.3
鼻毛の処理	14.0	UVケア (日焼け止め)	19.3
口臭ケア	12.0	産毛・ひげり	14.7
笑顔など感情を顔の表情に出す	9.3	笑顔など感情を顔の表情に出す	12.0

■ マスク着用で口臭ケアの重要性を認識。ニューノーマル時代は口臭ケアへの取り組みがより広まる?!

マスクをするようになって口臭ケアが大事だと思う人は、全体で44.3%ですが、マスクをしているとき口臭が気になる人では62.6%と、口臭ケアの意識が高くなっています [図5]。

マスク着用が基本となるニューノーマル時代に向け、口臭に気付く人が増えると同時に、口臭ケアの重要性がより理解される兆しがみられます。

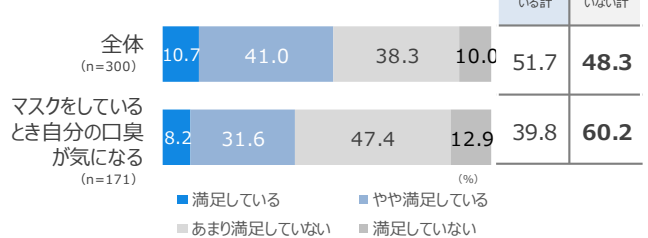
【図5】 マスクをするようになって口臭ケアが大事だと思う
スコアは「そう思う」+「ややそう思う」の合計



■ 自分の口臭が気になる人の約6割は、現在の口臭ケアに満足していない

現在の口臭ケアに対する満足度を聞くと、満足していない割合は、全体では約半数（48.3%）を占めています。マスクをしているときに口臭が気になる人では約6割（60.2%）と、高い傾向にあります [図6]。

【図6】 口臭ケアに対する満足度

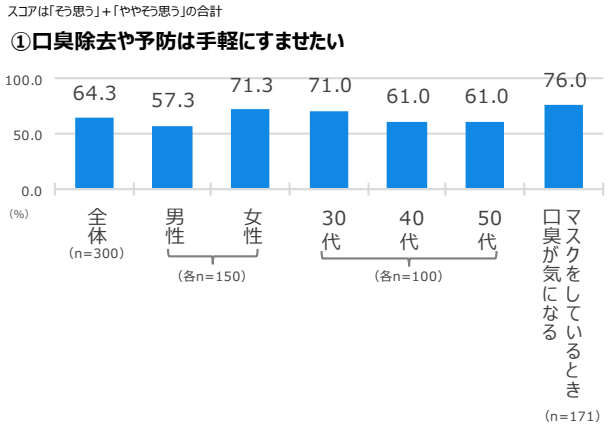


■ マスク着用が基本となる中、口臭ケアに望むのは、手軽にすぐにごできて効果が持続すること

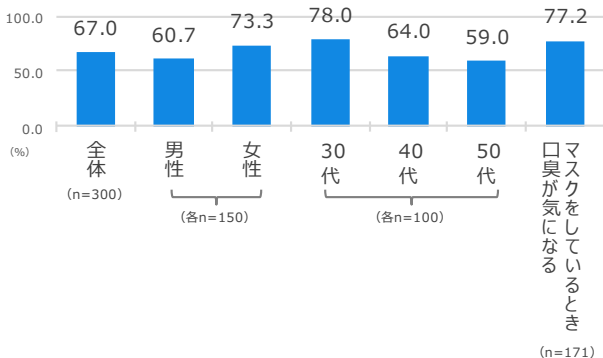
望まれている口臭ケアについて聞いた結果が [図7] です。

①「口臭除去や予防は手軽にすませたい」(64.3%)、
②「口臭が気になったときにすぐに口臭ケアしたい」(67.0%)、
③「口臭ケアは持続力が重要」(67.3%)
となり、手軽ですぐにごできて効果が持続する口臭ケアが望まれていることが分かりました。いずれも、口臭が気になる人ではその割合がさらに高く、より強く望まれています。

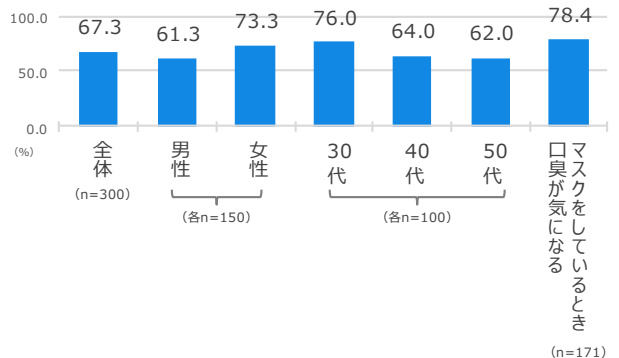
【図7】 口臭ケアに望むこと



②口臭が気になったときにすぐに口臭ケアしたい



③口臭ケアは持続力が重要



〈ご参考〉 口臭予防ブランド「ブレスラボ」について

■ 構想から10年、効果と持続性の課題を乗り越え、口臭を元から除去する製品を開発



近年、口臭を気にする人が増える中、対策をしてもなかなか効果を実感できない人は多くいます。そんな満たされないニーズに応えて開発した製品、それが2018年8月に発売した薬用イオン歯みがき「ブレスラボ」と、薬用イオン洗口液「ブレスラボ マウスウォッシュ」です。

開発に当たり、口臭が発生するメカニズムを徹底的に研究。香りでごまかすのではなく、口臭を元から除去するというコンセプトを掲げ、さまざまな成分を探索しました。研究を重ねた結果、口臭の発生する全ての段階をケアする薬用成分を選び出し、効果を実感できる製品が完成しました。

口臭の原因を徹底的に研究し、口臭予防に特化した薬用成分を検討

口臭の原因の約9割が口腔内にあるといわれています。

口腔内が原因となる口臭には、就寝中や空腹時、緊張時などに唾液が減ることで口の中の細菌が増殖し、食べかすなどのタンパク質が分解されることから発生する「生理的口臭」と、歯周病や虫歯などによる「病的口臭」がありますが、それぞれ発生の原因が異なることから、臭いの種類も異なります。

ブレスラボの研究開発チームは、生活者が不満に感じている効果と持続性の課題を解決すべく、口臭予防に効果のある成分の特定を行いました。



口臭予防に必要な3つのプロセスに適した成分を選択し、口臭を徹底ケア

口臭を根本からケアするには、歯周病などにつながる歯ぐきの炎症や出血を抑える「抗炎症」、生理的口臭の原因となる細菌の「殺菌」、それと同時に「口臭の原因物質の除去」が重要です。

ブレスラボの研究開発チームは、この3つのプロセスに最適な薬用成分を選択。歯みがきには5種*2、洗口液には2種*3の薬用成分を採用しました。さらに、吸着剤として歯みがきには塩化亜鉛、洗口液にはグルコン酸銅を配合しました。



第一三共ヘルスケアについて

第一三共ヘルスケアは、第一三共グループ*6の企業理念にある「多様な医療ニーズに応える医薬品を提供する」という考えのもと、生活者自ら選択し、購入できるOTC医薬品の事業を展開しています。

現在、OTC医薬品にとどまらず、スキンケアやオーラルケアへと事業領域を拡張し、経営ビジョン「健やかなライフスタイルをつくるパートナーへ Fit for You」の実現に向けて取り組んでいます。こうした事業を通して、自分自身で健康を守り対処する「セルフケア」を推進し、誰もがより健康で美しくあり続けることのできる社会の実現に貢献します。

*6 : 第一三共グループは、イノベティブ医薬品(新薬)・ジェネリック医薬品・ワクチン・OTC医薬品の事業を展開しています。